

INTEP、Pre-A ラウンドで BIG Impact および Global Catalyst Partners Japan から資金調達

プロダクト開発、全国展開、リハビリテーションデータ基盤の構築を加速

株式会社 INTEP は、BIG Impact K2 号投資事業有限責任組合および Global Catalyst Partners Japan 3 号投資事業有限責任組合を引受先とする第三者割当増資を実施し、増資手続きを完了しました。

株式会社 INTEP（本社：東京都、代表取締役 CEO：川上 途行、以下「当社」）は、Pre-A ラウンドにおいて、BIG Impact K2 号投資事業有限責任組合（以下「BIG Impact K2 号ファンド」）および Global Catalyst Partners Japan 3 号投資事業有限責任組合（以下「GCPJ3 号ファンド」）を引受先とする第三者割当増資を実施したことをお知らせします。

本資金調達を通じて、「スマートリハ®」のプロダクト開発、全国の医療機関への導入拡大、リハビリテーションデータ基盤の構築を推進します。また、両投資家が有する事業開発・経営支援・国内外ネットワークの知見も生かし、中長期的な成長基盤を強化してまいります。

本ラウンドに参画した投資家

BIG Impact K2 号投資事業有限責任組合

BIG Impact 株式会社が運営する、国内外のシード・アーリーステージを中心としたスタートアップを投資対象とするファンドです。資本に加え、顧客・実証機会・技術・人材が循環する成長支援を掲げており、特に神戸・関西エリアでの事業展開を支援しています。

Global Catalyst Partners Japan 3 号投資事業有限責任組合

Global Catalyst Partners Japan（GCPJ）が運営するファンドです。GCPJ は、シリコンバレーと日本で培った投資・事業支援の知見とグローバルネットワークを生かし、投資先スタートアップをハンズオンで支援しています。

資金調達の背景

リハビリテーション医療の現場では、記録・書類作成などの間接業務が増大する一方、診療情報が紙や非構造化データとして蓄積され、治療や経営への活用が進みにくいという課題があります。また、治療内容や評価が療法士個人の経験に依存しやすく、医療の質と生産性を同時に高めるためのデータ基盤が求められています。

当社が提供するリハビリ医療 DX プラットフォーム「スマートリハ®」は、記録・評価・治療プロセスを構造化し、業務効率化と治療品質向上の両立を支援します。将来的には、蓄積されたデータを活用した予後予測、治療提案、リハビリテーションのデジタルツイン構築を目指しています。

資金調達の目的

- ・ 「スマートリハ®」および AI 機能の開発強化
- ・ 医療機関への導入拡大とカスタマーサクセス体制の強化
- ・ リハビリテーションデータ基盤の構築と研究開発の推進
- ・ 事業開発・アライアンスを担う人材の採用と組織基盤の強化

今後の展開

当社は、本資金調達を契機として全国の医療機関への導入を加速するとともに、AI による記録支援・治療支援機能を高度化します。日々の診療の中で自然にデータが蓄積・構造化され、そのデータが次の治療判断に還元される循環をつくることで、リハビリ医療における「データ活用のインフラ」としてのポジション確立を目指します。

代表コメント

今回、BIG Impact K2 号ファンドおよび GCPJ3 号ファンドにご参画いただき、当社の事業と目指す未来に共感いただけたことを大変心強く感じています。リハビリ医療の現場には、業務負担の増大、データ活用の遅れ、治療の標準化と個別化の両立など、解決すべき課題が数多く残されています。本資金調達を通じてプロダクトと組織を強化し、医療現場に根差したデータプラットフォームを着実に社会実装してまいります。

株式会社 INTEP

代表取締役 CEO 川上 途行

投資家コメント

BIG Impact K2 号投資事業有限責任組合

BIG Impact K2 ファンドは、本年より本格的に投資活動を開始し、ヘルスケア・ウェルビーイングおよび関西・東アジアを重点テーマとしております。

高齢化の進展や医療人材不足を背景に、リハビリテーション医療は大きな変革期を迎えています。その中で同社は、臨床データを基盤とした新しいリハビリ医療オペレーションを実現するサービスとして、高い成長性を有していると考えています。制度改革による医療 DX の進展も追い風に、全国の医療機関をつなぐリハビリデータプラットフォームとして発展し、将来的には東アジアをはじめとする海外展開を通じて、医療現場の生産性向上と診療の質向上に貢献することを期待し、このたび出資を決定いたしました。

Global Catalyst Partners Japan3 号投資事業有限責任組合

Global Catalyst Partners Japan は、1999 年にシリコンバレーで創業した Global Catalyst Partners を起源とし、「イノベーション母集団の拡大」と「イノベーション人材の育成」を掲げ、投資先のハンズオン支援を行っております。

リハビリ医療の現場では、療法士の皆さまが本来向き合うべき患者との時間を、記録や書類の作成が圧迫してきました。「スマートリハ®」は、その負担を軽減するだけにとどまらず、医療機関の経営そのものを改善する道筋まで描ける点に大きな強みがあると考えています。川上代表をはじめとする経営陣が、臨床の現場を深く理解したうえで、導入先一つひとつの課題に丁寧に向き合ってくられた姿勢にも共感いたしました。

「スマートリハ®」が全国の医療機関に広がり、リハビリ医療のデータ基盤として社会に根づいていくよう、しっかりと伴走してまいります。

投資家概要

BIG Impact K2 号投資事業有限責任組合

ファンド名	BIG Impact K2 号投資事業有限責任組合
運営会社	BIG Impact 株式会社
公式サイト	https://big-impactfund.com/

Global Catalyst Partners Japan3 号投資事業有限責任組合

ファンド名	Global Catalyst Partners Japan3 号投資事業有限責任組合
運営会社	Global Catalyst Partners Japan (GCPJ)
公式サイト	https://gcp-j.com/

株式会社 INTEP について

会社名	株式会社 INTEP
所在地	東京都新宿区信濃町 35 慶応大学病院 2 号館 9F CRIK 信濃町オフィス N10
代表者	代表取締役 CEO 川上 途行
事業内容	リハビリ医療 DX プラットフォーム「スマートリハ®」の開発・提供

本件に関するお問い合わせ

株式会社 INTEP 広報担当

Email : info@intep.co.jp